

## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月6日

上場会社名 東部ネットワーク株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9036 URL https://www.tohbu.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 若山 良孝  
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務兼専務執行役員 (氏名) 三澤 秀幸 (TEL) 045-461-1651  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,972	6.1	299	△19.4	345	△16.4	306	△18.4
2023年3月期第3四半期	7,513	—	371	—	413	—	375	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 557百万円( 33.6%) 2023年3月期第3四半期 417百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	57.58	—
2023年3月期第3四半期	70.16	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	24,479	20,257	82.4
2023年3月期	23,459	19,366	82.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 20,177百万円 2023年3月期 19,287百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
2024年3月期	—	7.50	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,113	2.4	417	△3.3	495	3.3	411	△0.8	77.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	5,749,000株	2023年3月期	5,749,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	38,387株	2023年3月期	478,387株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	5,321,813株	2023年3月期3Q	5,354,351株

(注)2024年3月期第3四半期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)に係る信託口が保有する当社株式30,400株を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトにて同日掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）におけるわが国経済は、半導体不足の解消やインバウンド需要の回復により緩やかな回復をみせる一方、世界情勢の悪化リスクや、物価の上昇に消費者の賃金上昇が追い付かない状況など、依然として不透明感が拭えない状況が続いております。

当社グループの主力事業である貨物自動車運送業界におきましては、燃料や人件費などのコストが上昇する中、2024年4月より施行されるいわゆる2024年問題（ドライバーの時間外労働の上限規制）が迫っており、依然として経営環境は厳しい状況が続くと思われまます。

こうしたなか当社グループにおきましては、安定した収益基盤を確保すべく、付加価値の高い3PL型物流サービスの拡大や安定稼働を推し進めるとともに、輸送については配車効率の更なる改善や、運賃改定への取り組みを行ってまいりました。

産業用ガス輸送（水素輸送・工業用ガス輸送・医療用ガス輸送）につきましては、徐々に受注量を増加させており、また、取り扱う当社拠点も順調に増加しております。

当社グループは引き続き、事業成長に必要な資本業務提携や新たな物流事業への参入を視野に入れたM&Aを実行する方針を掲げており、継続的な業容の拡大を目指してまいります。

また、当社は2023年11月7日に長期ビジョン（トライ2034）を発表しており、現在引き続き中期経営計画を策定中であります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,972,514千円（前年同期比6.1%増）、営業利益299,142千円（前年同期比19.4%減）、経常利益345,768千円（前年同期比16.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益306,451千円（前年同期比18.4%減）となりました。

セグメント別の業績につきましては、次のとおりであります。

#### （貨物自動車運送事業）

飲料輸送およびその他の一般貨物輸送につきましては、経済活動の活発化に伴った物流量の増加は見られず前年並みとなり、セメント輸送につきましては微増となりました。3PLに関しましては満床状態および安定稼働を維持しております。また前第4四半期連結会計期間から取り込んでおります産業用ガス輸送も売上増に寄与しております。

以上から、当事業の売上高は、関連業務の荷役・保管作業収入を含め、7,276,813千円（前年同期比6.4%増）となり、セグメント利益は人件費をはじめとする各コストの増加により、236,768千円（前年同期比22.8%減）となりました。

#### （不動産賃貸事業）

自社施設に若干の空室が見られるものの、全体的には安定稼働をしており良好に推移しております。

この結果、当事業の売上高は489,855千円（前年同期比1.7%減）となり、セグメント利益は311,932千円（前年同期比3.1%減）となりました。

#### （その他事業）

石油販売は前年並みとなり、自動車整備事業は積極的な顧客の取り込みにより大幅な増収となりました。

この結果、当事業の売上高は、231,192千円（前年同期比15.7%増）となり、セグメント利益は83,329千円（前年同期比47.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

財政状態の分析は、次のとおりであります。

#### （資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、24,479,077千円となり、前連結会計年度末と比較し、1,020,034千円増加しました。これは主に、投資その他の資産その他が113,435千円減少した一方で、現金及び預金が648,914千円、投資有価証券が332,037千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は、4,221,834千円となり、前連結会計年度末と比較し、128,794千円増加しました。これは主に、未払金が103,675千円減少した一方で、支払手形が161,170千円、長期借入金109,951千円などが増加したことによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は20,257,243千円となり、前連結会計年度末と比較し、891,240千円増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加250,512千円、自己株式の処分による増加340,793千円などであります。

この結果、自己資本比率は82.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月7日付「2024年3月期第2四半期累計期間における連結業績予想と実績値の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測等に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,793,347	4,442,261
受取手形	74,684	89,269
電子記録債権	111,672	112,606
営業未収入金	1,282,481	1,339,666
原材料及び貯蔵品	25,416	27,867
その他	135,630	139,809
貸倒引当金	△1,781	-
流動資産合計	5,421,450	6,151,481
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,834,085	4,729,699
車両運搬具（純額）	406,672	528,071
土地	8,548,445	8,548,445
リース資産（純額）	471,484	452,149
その他（純額）	411,750	423,302
有形固定資産合計	14,672,438	14,681,668
無形固定資産		
のれん	235,482	295,767
その他	41,695	45,056
無形固定資産合計	277,178	340,824
投資その他の資産		
投資有価証券	1,453,962	1,785,999
破産更生債権等	-	3,562
差入保証金	1,379,607	1,378,132
その他	257,839	144,404
貸倒引当金	△3,433	△6,996
投資その他の資産合計	3,087,975	3,305,103
固定資産合計	18,037,592	18,327,595
資産合計	23,459,042	24,479,077

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	63,412	224,582
営業未払金	757,137	796,543
短期借入金	-	10,000
1年内償還予定の社債	80,000	-
1年内返済予定の長期借入金	28,123	35,710
リース債務	62,792	69,638
未払金	160,059	56,384
未払費用	216,929	222,738
未払法人税等	104,478	93,202
賞与引当金	90,642	47,637
その他	209,202	194,169
流動負債合計	1,772,777	1,750,606
固定負債		
長期借入金	152,095	262,046
リース債務	453,497	431,042
繰延税金負債	1,070,938	1,153,829
再評価に係る繰延税金負債	100,457	100,457
退職給付に係る負債	35,218	28,490
役員株式給付引当金	31,093	38,606
長期前受金	11,240	9,764
長期預り保証金	414,201	395,278
長期未払金	31,100	31,100
資産除去債務	20,419	20,612
固定負債合計	2,320,262	2,471,228
負債合計	4,093,040	4,221,834
純資産の部		
株主資本		
資本金	553,031	553,031
資本剰余金	536,556	608,923
利益剰余金	18,445,496	18,672,432
自己株式	△377,231	△36,437
株主資本合計	19,157,853	19,797,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	574,022	824,534
土地再評価差額金	△444,661	△444,661
その他の包括利益累計額合計	129,360	379,873
非支配株主持分	78,788	79,420
純資産合計	19,366,002	20,257,243
負債純資産合計	23,459,042	24,479,077

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	7,513,364	7,972,514
売上原価	6,712,338	7,140,861
売上総利益	801,025	831,652
販売費及び一般管理費	429,893	532,510
営業利益	371,131	299,142
営業外収益		
受取利息	90	90
受取配当金	46,228	53,464
その他	6,396	12,523
営業外収益合計	52,715	66,078
営業外費用		
支払利息	9,710	12,269
手形売却損	268	276
雑損失	403	6,905
営業外費用合計	10,382	19,451
経常利益	413,464	345,768
特別利益		
固定資産売却益	24,141	15,544
負ののれん発生益	76,329	-
保険解約返戻金	-	122,368
その他	8,042	-
特別利益合計	108,513	137,913
特別損失		
固定資産除却損	28	713
和解金	25,104	-
特別損失合計	25,133	713
税金等調整前四半期純利益	496,844	482,968
法人税、住民税及び事業税	109,961	168,454
法人税等調整額	11,215	7,526
法人税等合計	121,176	175,980
四半期純利益	375,668	306,988
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	537
親会社株主に帰属する四半期純利益	375,668	306,451



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	375,668	306,988
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41,772	250,607
その他の包括利益合計	41,772	250,607
四半期包括利益	417,440	557,596
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	417,440	556,963
非支配株主に係る四半期包括利益	-	632

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年11月14日開催の取締役会決議に基づき、第三者割当による自己株式440,000株の処分を行なっております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が72,366千円増加し、自己株式が340,793千円減少しております。

(追加情報)

(株式報酬制度)

当社は、2019年6月26日開催の第106回定時株主総会の決議に基づき、中長期的な企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、取締役(社外取締役を除く。)を対象とする株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」(以下「本制度」という。)を導入しております。

本制度に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じて、総額法を適用しております。

## ① 取引の概要

当社は取締役に対し、役員株式給付規程に基づき定まるポイントを付与し、役員退任時等に累計ポイントに応じた当社株式及び金銭を給付します。役員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理しております。

## ② 信託に残存する自社の株式

当社は、本信託に残存する当社株式を、本信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末30,248千円、30,400株、当第3四半期連結会計期間末30,248千円、株式数は30,400株であります。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貨物自動車運 送事業	不動産賃貸 事業	その他事業 (注) 1	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,838,428	492,136	182,799	7,513,364	—	7,513,364
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6,300	17,050	23,350	△23,350	—
計	6,838,428	498,436	199,849	7,536,714	△23,350	7,513,364
セグメント利益	306,805	321,987	56,391	685,184	△314,052	371,131

(注) 1. 「その他事業」は、商品販売事業(石油製品、セメントの販売等)、自動車整備業及び損保代理業等であります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書計上額(営業利益)と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

貨物自動車運送事業において、魚津運輸株式会社の株式取得による連結子会社化に伴い、当第3四半期連結累計期間において、のれんが244,204千円発生しております。

(重要な負ののれん発生益)

貨物自動車運送事業において、当第1四半期連結会計期間より株式会社東北三光の株式取得による連結子会社化に伴い、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は76,329千円であります。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、上記セグメント利益には含まれておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	貨物自動車運 送事業	不動産賃貸 事業	その他事業 (注) 1	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,276,813	483,555	212,144	7,972,514	—	7,972,514
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	6,300	19,047	25,347	△25,347	—
計	7,276,813	489,855	231,192	7,997,861	△25,347	7,972,514
セグメント利益	236,768	311,932	83,329	632,031	△332,889	299,142

- (注) 1. 「その他事業」は、商品販売事業(石油製品、セメントの販売等)、自動車整備業及び損保代理業等であります。
2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. 報告セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書計上額(営業利益)と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

貨物自動車運送事業において、株式会社ヒスコムからの事業譲受により、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結会計期間において91,000千円であります。